

令和3年度 福岡森林管理署公共工事(林道事業)契約状況

令和3年9月3日

分任支出負担行為担当官
福岡森林管理署長 佐藤 肇

工事名	施工場所		工事種別	工事概要	入札方式
深倉林道改良工事	福岡県田川郡添田町		林道工事	幅員3.6m 延長172.4m	一般競争入札
予定価格(税抜き)	調査基準価格(税抜き)	契約年月日	契約相手方の商号又は名称及び住所		
4,544,000円		令和3年9月3日	福岡県田川郡福智町赤池299-1 (有)香月建設		
契約金額(税抜き)	工事着手の時期	工事完成の時期			
3,570,000円	令和3年9月	令和4年1月			

○予算決算及び会計令(昭和22年勅令第165号、以下「予決令」という。)第73条の規定に基づく競争参加資格

「入札公告」のとおり

○競争に参加しようとした者の商号又は名称並びにそのうち競争に参加させなかった者の商号又は名称並びにその者を参加させなかった理由

「競争参加資格確認結果書」(別添1)のとおり

○入札者の商号又は名称及び各入札者の各回の入札金額

「入札執行調書」(別添2)のとおり

○予定価格の作成に用いた積算価格についての内訳

「工事積算内訳書」(別添3)のとおり

入札公告（森林土木工事）

次のとおり一般競争入札（政府調達対象外）に付します。

令和3年7月30日

分任支出負担行為担当官
福岡森林管理署長 佐藤 肇

1 工事概要

(1) 工事名 深倉林道改良工事

(2) 工事場所 福岡県田川郡添田町大字英彦山地内
(水源かん養保安林および第3種特別地域国定公園)

(3) 工事内容 コンクリート横断工（路面部）73.60m²
コンクリート横断工（法面部）50.90m² 流用盛土 26.00m³
簡易舗装工（アスファルト）497.08m² 鉄筋コンクリート横断溝300型 5.2m
鉄筋コンクリートL型側溝 23.4m

(4) 工期 契約締結日の翌日から令和4年1月21日まで（工期は、「4週8休」を標準として設定）とし、実工事期間は工事の着手日から111日間とする。ただし、令和3年10月4日（工事着手期限）までに工事を開始すること）。

本工事は、受注者の施工体制の確保及び建設資材の確保を図るため、余裕期間を見込んだ工事であり、工事着手期限までの間で、受注者は工事の着手日を任意に設定することができる。

契約締結の日から工事着手日の前日までの間は余裕期間となり、余裕期間内は技術者を配置することを要しない。

また、余裕期間内に施工体制等の確保及び建設資材の確保が図られた場合は、監督職員との協議により工事着手できるものとする。なお、余裕期間内に工事着手する場合の工期の終期については、工事着手日から実工事期間を確保した日を工期の終期とする。

(5) 本工事は、入札等を電子入札システムにより行う対象工事である。なお、電子入札システムによりがたいものは、発注者の承諾を得て紙入札方式に代えることができる。

(6) 本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務づけられた工事である。

(7) 本工事は、週休2日を促進するため、週休2日に取り組むことを前提として直接工事費及び間接工事費の一部を補正して実施する試行工事（受注者希望方式）である。

契約締結後、工事着手前に週休2日の取組について協議して実施するものとし、その取組状況に応じ林野庁工事成績評定要領（平成10年3月31日付け10林野管第31号林野庁長官通知）に基づく工事成績評定（以下「工事成績評定」という。）において評価を行うとともに、「森林土木工事における週休2日の取組実績証明書」を発行する。なお、現場閉所が4週8休以上でない場合は、現場閉所状況等に応じて請負代金額を変更するが、工事成績評定においてマイナス評価は行わない。

(8) 本工事は、令和3年3月1日以降の労務単価を適用した工事である。

詳しくは九州森林管理局ホームページ

https://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/tisan/announce/sekisan_kouhyou.html#290327をご覧ください。

(9) 本工事は、令和3年4月1日に適用される前の森林整備保全事業設計積算要領（平成12年3月31日付け12林野計第138号林野庁長官通知）等に基づく予定価格により入札を執り行うものであるが、令和3年3月31日に「令和3年4月以降に適用する森林整備保全事業設計積算要領等に係る取扱いについて」（令和3年3月31日付け2林整計第874号林野庁森林整備部計画課長通知）が通知されたことを踏まえ、工事の発注者又は受注者は、国有林野事業工事請負契約約款第63条の規定に基づき、次の方式により算出された請負代金額等に変更する協議を行うことができるものとする。

変更後の請負代金額等 = $P_{\text{新}} \times k$

この式において、「 $P_{\text{新}}$ 」及び「 k 」は、それぞれ以下を表すものとする。

$P_{\text{新}}$ ：新積算要領等により積算された予定価格（単価は入札時の予定価格算出に用いたものとする）

k ：当初契約の落札率

2 競争参加資格

(1) 「予算決算及び会計令」（昭和22年勅令第165号）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、第70条中、特別の理由がある場合に該当する。

(2) 九州森林管理局における土木一式工事に係るC又はD等級の一般競争参加資格の認定を受けていること（「会社更生法」（平成14年法律第154号）に基づき更生手続き開始の申立てがなされている者又は「民事再生法」（平成11年法律第225号）に基づき再生手続き開始の申立てがなされている者については、手続き開始の決定後、九州森林管理局長が別に定める手続に基づく一般競争参加資格の再確認を受けていること。）。

(3)「会社更生法」に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は「民事再生法」に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（上記(2)の再確認を受けた者を除く。）でないこと。

(4)平成18年度以降公告日の前日までに元請として、次に示す森林土木工事を施工した実績を有すること（共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものに限る。）。

なお、当該実績が森林管理局長、森林管理署長、森林管理署支署長、森林管理事務所長、治山センター所長及び総合治山事業所長（以下「森林管理局長等」という。）が発注した工事のうち、入札説明書に示すものに係る実績である場合にあっては、「林野庁工事成績評定要領」（平成10年3月31日付け10林野管第31号林野庁長官通知）第4の3に規定する工事成績評定表の評定点合計（以下「評定点合計」という。）が65点未満のものを除く。

経常建設共同企業体にあつては、全ての構成員が上記の基準を満たす施工実績を有すること。

- ・森林土木工事：①治山関係事業（溪間工事、山腹工事、地すべり工事、海岸防災林造成の工事）の工事
②林道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事又は保安林管理道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事
③林道規定に定める自動車道2級以上に相当する作業道の新設工事
のうち、いずれかの工事

(5)「建設業法」（昭和24年法律第100号）に基づく「主任技術者又は監理技術者」（以下「主任（監理）技術者」という。）の配置については、次に掲げる基準を満たす主任（監理）技術者を配置できること。

① 技術士（建設部門又は森林部門（選択科目を「森林土木」とするものに限る。）、2級土木施工管理技士、2級建設機械施工技士又は林業技士（森林土木部門に限る。）以上の資格を有する者であること。

② 平成18年度以降公告日の前日までに、森林土木工事において、次の職務の経験を有する者であること。ただし、交代等により全工期（余裕期間は除く）のうち半分未満の経験を有する者は該当しない。

なお、当該実績が森林管理局長等が発注した工事のうち、入札説明書に示すものに係る実績である場合にあっては、評定点合計が65点未満のものを除く。

ア 主任（監理）技術者

イ 主任（監理）技術者の下で行った工程管理、出来形管理、品質管理及び安全管理のうち、いずれか2以上の職務の経験のある者

ウ 現場代理人

- ・森林土木工事：①治山関係事業（溪間工事、山腹工事、地すべり工事、海岸防災林造成の工事）の工事
②林道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事又は保安林管理道の新設工事若しくは改良工事若しくは災害復旧工事
③林道規程に定める自動車道2級以上に相当する作業道の新設工事
のうち、いずれかの工事

③ 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。

(6) 競争参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）及び競争参加資格確認資料（以下「資料」という。）の提出期限の日から開札の時までの期間に、九州森林管理局長から「工事請負契約指名停止等措置要領の制定について」（昭59年6月11日付け59林野経第156号林野庁長官通知）に基づく指名停止を受けていないこと。

(7) 森林管理局長等が発注した森林土木工事で、過去2年間（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）に完成した工事で工事の実績がある場合においては、当該工事に係る評定点合計の平均が65点以上であること。

(8) 上記1に示した工事に係る設計業務等の受託者又は当該受託者と資本若しくは人事面において関連がある建設業者でないこと。

(9) 入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと（資本関係又は人的関係がある者のすべてが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く。）（入札説明書を参照のこと。）。

(10) 「建設業法」に基づく本店又は支店若しくは営業所が、九州森林管理局管内の市町村に所在すること。

また、経常建設共同企業体として資料を提出する場合は、有資格者名簿に記載されている共同企業体の本店所在地が、九州森林管理局管内の市町村に所在すること。

(11) 「農林水産省発注工事等からの暴力団排除の推進について」（平成19年12月7日付け19経第1314号大臣官房経理課長通知）に基づき、警察当局から部局長に対し、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずるものとして、農林水産省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。

(12) 以下に定める届出の義務を履行していない建設業者（当該届出の義務がない者を除く。）でないこと。

- ・健康保険法（大正11年法律第70号）第48条の規定による届出の義務
- ・厚生年金保険法（昭和29年法律第115号）第27条の規定による届出の義務
- ・雇用保険法（昭和49年法律第116号）第7条の規定による届出の義務

(13) 下請契約等からの社会保険等未加入建設業者の排除等

工事を施工するために締結した全ての下請契約について、受注者は、原則として、社会保険等未加入建設業者を下請契約の相手方にするにはできない。（ただし、適用除外者は除く。）

3 競争参加資格の確認等

(1) 本競争の参加希望者は、上記2に掲げる競争参加資格を有することを証明するため、次に掲げるところに従い、申請書及び資料を提出し、分任支出負担行為担当官から競争参加資格の有無について確認を受けなければならない。

(2) 申請書及び資料の提出期間、場所及び方法

- ① 提出期間：令和3年8月2日から令和3年8月16日までの土曜日、日曜日及び祝日等の行政機関の休日を除く毎日、9時から17時までとする。
- ② 場 所：〒814-0006 福岡県福岡市早良区百道1-16-29
福岡森林管理署 総務グループ
電話 092-843-2100
- ③ そ の 他：電子入札システムを用いて提出すること。詳細は入札説明書によるものとし、郵送又はFAXによるものは受け付けない。ただし、承諾を得て紙入札による場合は②の場所に持参すること。

(3) 申請書及び資料は入札説明書により作成すること。

(4) 上記(2)に規定する期限までに申請書及び資料を提出しない者又は競争参加資格がないと認められた者は本競争に参加できない。

(5) 省略を認める書類

過去2年間（平成31年4月1日から令和3年3月31日まで）に完成した工事で森林管理局長等発注の森林土木工事に係る工事成績評定通知書（写）の添付については、本公告による競争参加資格申請が今年度の2回目以降の申請であり、既に前回までの申請書に添付している場合には、様式に工事名、工事成績評定点等を記載した上で「○○森林管理（局、（支）署）令和○○年○○月○○日入札の○○工事において提出済み」と記載すれば再度の添付を要しない。（入札説明書を参照のこと）

4 入札手続等

(1) 担当部局

〒814-0006 福岡県福岡市早良区百道1-16-29
福岡森林管理署 総務グループ
電話 092-843-2100

(2) 入札説明書等の配布期間、場所及び方法

入札説明書等（図面類を含む。）は、本公告の日から入札日の前日までの期間において電子入札システムを用いて入手できる。

なお、電子入札システムによりがたい場合は次に掲げるところによる。

- ① 配布期間：令和3年7月30日から令和3年8月31日までの土曜日、日曜日及び祝日等の行政機関の休日を除く毎日、9時から17時まで（12時から13時までを除く。）とする。
- ② 場 所：〒814-0006 福岡県福岡市早良区百道1-16-29
福岡森林管理署 総務グループ
電話 092-843-2100
- ③ 図面類は閲覧によること。
- ④ 配布資料は無料である。

(3) 入札及び開札の日時、場所及び提出方法

入札書は電子入札システムにより提出すること。ただし、やむを得ない事情により発注者の承諾を得た場合は、紙入札方式による入札書を持参すること。なお、郵送等による提出は認めない。

- ① 電子入札システムによる入札の締切りは、令和3年9月1日10時30分。
- ② 紙入札方式による入札の締切りは、令和3年9月1日10時30分とし、福岡森林管理署 会議室において入札。
- ③ 開札は、令和3年9月1日10時40分に、福岡森林管理署会議室において行う。
- ④ 紙入札方式による入札の執行に当たっては、支出負担行為担当官等により競争参加資格があると確認された旨の通知書の写し及び委任状がある場合は委任状を持参すること。

5 その他

(1) 手続において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 入札保証金及び契約保証金

- ① 入札保証金 免除
- ② 契約保証金 納付（保管金の取扱店 日本銀行福岡支店（代理店））。ただし、金融機関又は保証事業会社（「公共工事の前払金保証事業に関する法律」（昭和27年法律第184号）第2条第4項に規定する保証会社をいう。）の保証（取扱官庁 福岡森林管理署）をもって契約保証金の納付に代えることができる。

また、公共工事履行保証証券による保証を付した場合又は履行保証保険契約の締

結を行った場合には、契約保証金の納付を免除する。

(3) 工事費内訳書の提出

第1回の入札に際し、第1回の入札書に記載される入札金額に対応した工事費内訳書を電子入札システムにより提出すること。紙入札方式による場合は、入札書とともに工事費内訳書を提出すること。

なお、当該工事費内訳書の提出のない者のした入札、及び不備等があった者の入札は無効とする。

(4) 入札の無効

本公告に示した競争参加資格のない者のした入札、申請書及び資料に虚偽の記載を行った者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

(5) 落札者の決定方法

落札者の決定は、競争参加資格の確認がなされた者の中から「予算決算及び会計令」第79条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。ただし、予定価格が1千万円を超える工事について、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内をもって入札した他の者のうち、最低の価格をもって入札したものを落札者とすることがある。

(6) 配置予定主任（監理）技術者の確認

落札者決定後、財団法人日本建設情報総合センターの「工事实績情報システム（CORINS）」等により配置予定の主任（監理）技術者の専任制違反の事実が確認された場合には、契約を締結しないことがある。

なお、種々の状況からやむを得ないものとして承認された場合のほかは、配置予定主任（監理）技術者の変更は認めない。

(7) 契約書作成の要否

作成を要する。

(8) 関連情報を入手するための照会窓口

上記4(1)に同じ。

(9) 一般競争参加資格の認定を受けていない者の参加

上記2(2)に掲げる一般競争参加資格の認定を受けていない者も上記3(2)により申請書及び資料を提出することができる。ただし、競争に参加するには、開札の時に於いて、当該資格の認定を受け、かつ競争参加資格の確認を受けていなければならな

い。

(10) 資料の内容のヒアリング

原則として行わない。ただし、ヒアリング実施の必要が生じた場合は別途通知する。

(11) 本案件は、入札及び資料の提出等を電子入札システムにより行うものであり、詳細については、入札説明書及び電子入札システム運用基準（平成16年7月 林野庁）による。

(12) 本公告に係る森林土木工事請負契約における契約約款は、こちらからダウンロードしてください。

詳しくは当森林管理局のホームページ

http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/kouhyou/keiyaku_yakkan/index.html

をご覧ください。

なお、上記ダウンロードをもって契約約款の交付に代え、契約約款の交付日は本公告日とすることとしますのでご承知おきください。

(13) 農林水産省の発注事務に関する綱紀保持を目的とした、「農林水産省発注者綱紀保持規程」（平成19年農林水産省訓令第22号）第10条及び第11条にのっとり、第三者から以下の不当な働きかけを受けた場合は、これを拒否し、その内容（日時、相手方及び働きかけの内容）を記録し、同規定第9条に基づき設置する発注者綱紀保持委員会（以下、「委員会」という。）に報告し、委員会の調査分析において不当な働きかけと認められた場合には、当該委員会を設置している機関において閲覧及びホームページにより公表します。

（不当な働きかけ）

- ① 自らに有利な競争参加資格の設定に関する依頼
- ② 指名競争入札において自らを指名すること又は他社を指名しないことの依頼
- ③ 自らが受注すること又は他社に受注させないことの依頼
- ④ 公表前における設計金額、予定価格、見積金額又は低入札価格調査制度の調査基準価格に関する情報聴取
- ⑤ 公表前における総合評価落札方式における技術点に関する情報聴取
- ⑥ 公表前における発注予定に関する情報聴取
- ⑦ 公表前における入札参加者に関する情報聴取
- ⑧ その他の特定の者への便宜又は利益若しくは不利益の誘導につながるおそれのある依頼又は情報聴取

詳しくは当森林管理局のホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/apply/publicsale/koubo/index.html>

をご覧ください。

- (14) 本工事については、受注者が追加で費用を要する新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施する場合に設計変更の協議の対象となる。受注者からの申し出により、受注者による施工計画書への反映と確実な履行を前提として設計変更を行い、必要に応じて請負代金額の変更や工期の延長を行う。

入札筆記書

調達案件番号

003807002020210008

調達案件名称

深倉林道改良工事

業者名称	業者区分	第1回入札金額	結果
(有)香月建設		3,570,000	落札
(有)泰成工務店		4,000,000	
(株)ウエダ		4,200,000	

結 果

落札者決定

入札執行月日

令和03年9月1日

部 署

九州森林管理局福岡森林管理署

入札書比較価格 (税抜き) 4,544,000

予定価格 (税込み) 4,998,400

調査基準価格 (税抜き) 0

開札結果は上記の金額の通り相違ありません。

執行担当署名

佐藤 肇

立会・確認担当署名

森 浩之

[様式2]

競争参加資格確認結果書

1. 工事名 : 深倉林道改良工事
2. 所属事務所 : 福岡森林管理署
3. 入札公告日 : 令和3年7月30日
4. 競争参加資格確認結果通知期限日 : 令和3年8月18日

資格確認申請者	資格の有無	資格がないと認めた理由
福岡県田川郡福智町赤池299-1 (有)香月建設 代表取締役 香月 博道	有	
福岡県築上郡築上町大字上別府579-1 (株)ウエダ 代表取締役 上田 信輝	有	
福岡県田川郡福智町伊方3020番地 有限会社 泰成工務店 代表取締役 仲村 泰彦	有	

(備考)

1 「資格の有無」の欄には、資格があると認めた場合には「有」と記載し、資格がないと認めた場合には「無」と記載すること。

2 「資格がないと認めた理由」の欄には、入札公告において示した「競争に参加する者に必要な資格に関する事項」のどの事項を満たさなかったのかを記載すること。

明 細 表

1	溝渠工(改1)	点在箇所A					
コードNo	(構造)	(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック		サブブロック	
		福岡森林管理署	本署	福岡	59	飯塚②	446
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
78	[施 工 々 種]		2.00	工種	0	0	
7009	コンクリート横断工(路面部)	路盤用	50.40	m2	6,035	304,164	
7010	コンクリート横断工(法面部)	法面用	50.90	m2	2,587	131,678	
頁 計						435,842	
計						[435842]	435,000
割出単価						217,500	
(備考)	金額計の内	労務費(運転手・助手外)	労務補正率(0%)	週休2日補正係数(1.05)		142,535	
	金額計の内	労務費(運転手・助手)	労務補正率(0%)	週休2日補正係数(1.05)		4,234	
	金額計の内	形成材料				49,006	
	金額計の内	機械賃料	週休2日補正係数(1.04)			2,873	

明 細 表

2	土工(改1)	点在箇所A					
コードNo	(構造) L=14m W=3.6m	(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック		サブブロック	
		福岡森林管理署	本署	福岡	59	飯塚②	446
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
71	[施工延長]		14.00	m	0	0	
7012	流用盛土		26.00	m3	729	18,954	
頁 計						18,954	
計						[18954]	18,000
割出単価						1,285	
(備考)	金額計の内	労務費(運転手・助手外)	労務補正率(0%)	週休2日補正係数(1.05)		1,586	
	金額計の内	労務費(運転手・助手)	労務補正率(0%)	週休2日補正係数(1.05)		11,206	
	金額計の内	形成材料				0	
	金額計の内	機械賃料	週休2日補正係数(1.04)			3,354	

明 細 表

3	舗装工(改2)	点在箇所A					
コードNo	(構造) L=158.4m W=3.6m	(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック		サブブロック	
		福岡森林管理署	本署	福岡	59	飯塚②	446
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
71	[施工延長]		158.40	m	0	0	
7004	簡易舗装工(アスファルト)	表層厚4cm	497.08	m2	2,208	1,097,552	
頁 計						1,097,552	
計						[1097552]	1,097,000
割出単価						6,925	
(備考)	金額計の内	労務費(運転手・助手外)	労務補正率(0%)	週休2日補正係数(1.05)		103,393	
	金額計の内	労務費(運転手・助手)	労務補正率(0%)	週休2日補正係数(1.05)		82,018	
	金額計の内	形成材料				856,469	
	金額計の内	機械賃料		週休2日補正係数(1.04)		17,895	

○ 1# 点在箇所A

明 細 表

6	間接工事費 現場管理費	(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック	(サブブロック)	(ブロック略称)																																																																																																																																					
	(構造)	福岡森林管理署	本署	59	446	福岡																																																																																																																																					
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額																																																																																																																																					
	現 場 管 理 費		1.0	式	-	1,109,000																																																																																																																																					
	計					1,109,000																																																																																																																																					
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">A 直接工事費</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: right;">2,071,000</td> <td style="width: 10%;">円</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>B 純工事費</td> <td>(支給品費等含まない)</td> <td style="text-align: right;">2,593,000</td> <td>円</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>C 産業廃棄物処分費等</td> <td></td> <td style="text-align: right;">0</td> <td>円</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>D 現場管理費算定対象額</td> <td>(B - C)</td> <td style="text-align: right;">2,593,000</td> <td>円</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>E 現場管理費率</td> <td>(Dで算定)</td> <td style="text-align: right;">40.38</td> <td>%</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>F 施工時期補正 設定工期</td> <td>(標準工期)</td> <td></td> <td>日</td> <td style="text-align: center;">(</td> <td style="text-align: center;">11 舗装工事</td> <td style="text-align: center;">111 日)</td> </tr> <tr> <td>G 冬期期間内工期</td> <td></td> <td></td> <td>日</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>H 級地区分補正係数</td> <td></td> <td style="text-align: right;">0.00</td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>I 冬期率(I年度内工期率)</td> <td>(G/F * 100)</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td>%</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>J 冬期補正率</td> <td>(H * I / 100)</td> <td style="text-align: right;">0.00</td> <td>%</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>K 真夏日</td> <td></td> <td style="text-align: right;">0</td> <td>日</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>L 真夏日率</td> <td>(K / F * 100)</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td>%</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>M 熱中症対策補正率</td> <td>(L * 1.2 / 100)</td> <td style="text-align: right;">0.00</td> <td>%</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>N 施工地域補正係数</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1.00</td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>O 週休2日補正係数</td> <td></td> <td style="text-align: right;">1.06</td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>P 補正現場管理費率</td> <td>(E * N + (J + M)) * O</td> <td style="text-align: right;">42.80</td> <td>%</td> <td colspan="3">(J + Mの最大は2.0%)</td> </tr> <tr> <td>Q 算定現場管理費</td> <td>(D * P / 100)</td> <td style="text-align: right;">1,109,804</td> <td>円</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>R 端数切捨額</td> <td>(千円止)</td> <td style="text-align: right;">-804</td> <td>円</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>S 現場管理費</td> <td>(Q + R)</td> <td style="text-align: right;">1,109,000</td> <td>円</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>							A 直接工事費		2,071,000	円				B 純工事費	(支給品費等含まない)	2,593,000	円				C 産業廃棄物処分費等		0	円				D 現場管理費算定対象額	(B - C)	2,593,000	円				E 現場管理費率	(Dで算定)	40.38	%				F 施工時期補正 設定工期	(標準工期)		日	(11 舗装工事	111 日)	G 冬期期間内工期			日				H 級地区分補正係数		0.00					I 冬期率(I年度内工期率)	(G/F * 100)	0	%				J 冬期補正率	(H * I / 100)	0.00	%				K 真夏日		0	日				L 真夏日率	(K / F * 100)	0	%				M 熱中症対策補正率	(L * 1.2 / 100)	0.00	%				N 施工地域補正係数		1.00					O 週休2日補正係数		1.06					P 補正現場管理費率	(E * N + (J + M)) * O	42.80	%	(J + Mの最大は2.0%)			Q 算定現場管理費	(D * P / 100)	1,109,804	円				R 端数切捨額	(千円止)	-804	円				S 現場管理費	(Q + R)	1,109,000	円			
A 直接工事費		2,071,000	円																																																																																																																																								
B 純工事費	(支給品費等含まない)	2,593,000	円																																																																																																																																								
C 産業廃棄物処分費等		0	円																																																																																																																																								
D 現場管理費算定対象額	(B - C)	2,593,000	円																																																																																																																																								
E 現場管理費率	(Dで算定)	40.38	%																																																																																																																																								
F 施工時期補正 設定工期	(標準工期)		日	(11 舗装工事	111 日)																																																																																																																																					
G 冬期期間内工期			日																																																																																																																																								
H 級地区分補正係数		0.00																																																																																																																																									
I 冬期率(I年度内工期率)	(G/F * 100)	0	%																																																																																																																																								
J 冬期補正率	(H * I / 100)	0.00	%																																																																																																																																								
K 真夏日		0	日																																																																																																																																								
L 真夏日率	(K / F * 100)	0	%																																																																																																																																								
M 熱中症対策補正率	(L * 1.2 / 100)	0.00	%																																																																																																																																								
N 施工地域補正係数		1.00																																																																																																																																									
O 週休2日補正係数		1.06																																																																																																																																									
P 補正現場管理費率	(E * N + (J + M)) * O	42.80	%	(J + Mの最大は2.0%)																																																																																																																																							
Q 算定現場管理費	(D * P / 100)	1,109,804	円																																																																																																																																								
R 端数切捨額	(千円止)	-804	円																																																																																																																																								
S 現場管理費	(Q + R)	1,109,000	円																																																																																																																																								
備考																																																																																																																																											

明 細 表

7	一般管理費等																																																														
(構造) 計算内容は下記参照		(森林管理署名)	(事務所名)	メインブロック	(サブブロック)	(ブロック略称)																																																									
		福岡森林管理署	本署	59	446	福岡																																																									
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額																																																									
	一般管理費等		1.0	式	-	842,000																																																									
	計					842,000																																																									
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">○ 工事原価</td> <td style="width: 30%;">点在箇所A</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">3,702,000 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>一般管理費等算定対象額 (産廃処分費等で補正)</td> <td style="text-align: right;">3,702,000 円</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>一般管理費等率 (Aで算定)</td> <td style="text-align: right;">22.72 %</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>補正係数</td> <td style="text-align: right;">1.00</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>補正一般管理費等率 (B * C)</td> <td style="text-align: right;">22.72 %</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>率部一般管理費等額 (A * D / 100)</td> <td style="text-align: right;">841,094 円</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>契約保証補正值</td> <td style="text-align: right;">0.04 %</td> </tr> <tr> <td>G</td> <td>契約保証補正額 (A * F / 100)</td> <td style="text-align: right;">1,480 円</td> </tr> <tr> <td>H</td> <td>算定一般管理費等 (E + G)</td> <td style="text-align: right;">842,574 円</td> </tr> <tr> <td>I</td> <td>採用一般管理費等 (千円止)</td> <td style="text-align: right;">842,000 円</td> </tr> </table>							○ 工事原価	点在箇所A	3,702,000 円			円			円			円			円			円			円			円			円			円	A	一般管理費等算定対象額 (産廃処分費等で補正)	3,702,000 円	B	一般管理費等率 (Aで算定)	22.72 %	C	補正係数	1.00	D	補正一般管理費等率 (B * C)	22.72 %	E	率部一般管理費等額 (A * D / 100)	841,094 円	F	契約保証補正值	0.04 %	G	契約保証補正額 (A * F / 100)	1,480 円	H	算定一般管理費等 (E + G)	842,574 円	I	採用一般管理費等 (千円止)	842,000 円
○ 工事原価	点在箇所A	3,702,000 円																																																													
		円																																																													
		円																																																													
		円																																																													
		円																																																													
		円																																																													
		円																																																													
		円																																																													
		円																																																													
		円																																																													
A	一般管理費等算定対象額 (産廃処分費等で補正)	3,702,000 円																																																													
B	一般管理費等率 (Aで算定)	22.72 %																																																													
C	補正係数	1.00																																																													
D	補正一般管理費等率 (B * C)	22.72 %																																																													
E	率部一般管理費等額 (A * D / 100)	841,094 円																																																													
F	契約保証補正值	0.04 %																																																													
G	契約保証補正額 (A * F / 100)	1,480 円																																																													
H	算定一般管理費等 (E + G)	842,574 円																																																													
I	採用一般管理費等 (千円止)	842,000 円																																																													
備考 係数は四捨五入 金額は切捨																																																															

割 増 単 価 表

7001 不陸整正		福岡森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		福岡	59	飯塚②	446	1 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8001	不陸整正	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m2	108	108	
計		週休:4週8休以上				108	
		単 価	1.0 m2当り			108	
		単価の内労務費の金額				71	
		単価の内形成材料の金額				7	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7002 上層路盤工		福岡森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 車道、路肩部	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		福岡	59	飯塚②	446	1 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8002	上層路盤(車道・路肩部)	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m2	812	812	
計		週休:4週8休以上				812	
		単 価			1.0 m2当り	812	
		単価の内労務費の金額				157	
		単価の内形成材料の金額				598	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7003 表層工		福岡森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 車道、路肩部	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		福岡	59	飯塚②	446	1 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8003	表層(車道・路肩部)	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m2	1,288	1,288	
計		週休:4週8休以上				1,288	
		単 価			1.0 m2当り	1,288	
		単価の内労務費の金額				145	
		単価の内形成材料の金額				1,118	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7004 簡易舗装工(アスファルト)		福岡森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 表層厚4cm	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		福岡	59	飯塚②	446	100 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7001	不陸整正		100.00	m2	108	10,800	
7002	上層路盤工	車道、路肩部	100.00	m2	812	81,200	
7003	表層工	車道、路肩部	100.00	m2	1,288	128,800	
計		週休:4週8休以上				220,800	
		単 価			1.0 m2当り	2,208	
		単価の内労務費の金額				373	
		単価の内形成材料の金額				1,723	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7006 鉄筋コンクリートL型側溝据付		福岡森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 250B	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		福岡	59	飯塚②	446	10 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8005	プレキャストL形側溝(製品長 0.6m/個)	施工パッケージ単価計算参照	10.00	m	7,164	71,640	
計		週休:4週8休以上				71,640	
		単 価			1.0 m当り	7,164	
		単価の内労務費の金額				4,364	
		単価の内形成材料の金額				2,349	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7007 基礎砕石工		福岡森林管理署 本署					
コードNo	(構造) 再生クラッシャーラン 厚7.5cm～12.5cm	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		福岡	59	飯塚②	446	1 m2	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8006	基礎砕石	施工パッケージ単価計算参照	1.00	m2	1,426	1,426	
計		週休:4週8休以上				1,426	
		単 価	1.0 m2当り			1,426	
		単価の内労務費の金額				794	
		単価の内形成材料の金額				546	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7008 鉄筋コンクリートL型側溝		福岡森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		福岡	59	飯塚②	446	10 m	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7006	鉄筋コンクリートL型側溝据付	250B	10.00	m	7,164	71,640	
7007	基礎砕石工	再生クラッシャーラン 厚7.5cm~12.5cm	4.50	m2	1,426	6,417	
計		週休:4週8休以上				78,057	
		単 価		1.0 m当り		7,806	
		単価の内労務費の金額				4,721	
		単価の内形成材料の金額				2,595	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7010 コンクリート横断工(法面部)		福岡森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック			サブブロック		作成単位
局林1-1-10	法面用	福岡	59		飯塚②	446	100 m2
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	普通作業員	令和3年3月労賃	2.00	人	20,475	40,950	
326	異形鉄線溶接金網	CD6 100×100mm	110.00	m2	490	53,900	割増率10%
3702	生コンクリート	18-8-40 BB	10.40	m3	15,750	163,800	割増率4%
計		週休:4週8休以上				258,650	
		単 価			1.0 m2当り	2,587	
		単価の内労務費の金額				410	
		単価の内形成材料の金額				539	
[摘要] 生コン打設・養生(無筋) 10.0m3 施工P加算							

割 増 単 価 表

7011 流用盛土		福岡森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		福岡	59	飯塚②	446	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4504	敷均し(路体・路床・築堤等)	3t級BD	1.00	m3	322	322	
4507	締固め(路体・築堤等)	搭乗式コンバインド型 3-4t	1.00	m3	407	407	
計		週休:4週8休以上				729	
		単 価		1.0 m3当り		729	
		単価の内労務費の金額				492	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

割 増 単 価 表

7012 流用盛土		福岡森林管理署 本署					
コードNo	(構造)	メインブロック		サブブロック		作成単位	
		福岡	59	飯塚②	446	1 m3	
単価No	名 称	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4504	敷均し(路体・路床・築堤等)	3t級BD	1.00	m3	322	322	
4507	締固め(路体・築堤等)	搭乗式コンバインド型 3-4t	1.00	m3	407	407	
計		週休:4週8休以上				729	
		単 価		1.0 m3当り		729	
		単価の内労務費の金額				492	
		単価の内形成材料の金額				0	
[摘要]							

施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称				積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.	
上層路盤(車道・路肩部)				m2	541.41	804.40	8002	施工パ-186-9	
条件区分									
材料	再生粒度調整碎石 RM-40								
平均幅員	-								
1層当り平均仕上り厚	-								
全仕上り厚	実数入力								
施工区分	1層施工								
瀝青材料種類	-								
機労材 代表規格									
機		代表規格				構成比	基準単価	福岡	
K(機械)						*印:賃料	10.44		
	K1	モータグレーダ[土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] ブレード幅3.1m					4.22	18,300	18,300
	K2	ロードローラ[マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 運転質量10t 締固め幅2.1m					3.27	13,600	13,600
	K3	タイヤローラ[普通型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 質量8~20t				*	1.07	4,480	5,103
R(労務)							30.39		
	R1	運転手(特殊)					13.97	23,800	21,300
	R2	特殊作業員					4.91	24,200	22,000
	R3	普通作業員					4.67	21,100	19,500
	R4	土木一般世話役					1.36	24,600	23,900
Z(材料)							59.17		
	Z1	粒度調整碎石 RM-40 RM-25					56.36	240,000	457,000
	Z2	軽油 1.2号 パトロール給油					2.31	117	107
	Z3	-					-		
	Z4	-					-		
S(市場単価)	-					-			
計算式									
$\begin{aligned} \text{積算単価} &= 541.41 \times \left\{ \left(\frac{4.22}{100} \times \frac{18,300}{18,300} + \frac{3.27}{100} \times \frac{13,600}{13,600} + \frac{1.07}{100} \times \frac{5,103}{4,480} \right) \times \frac{10.44}{4.22 + 3.27 + 1.07} \right. \\ &+ \left(\frac{13.97}{100} \times \frac{21,300}{23,800} + \frac{4.91}{100} \times \frac{22,000}{24,200} + \frac{4.67}{100} \times \frac{19,500}{21,100} + \frac{1.36}{100} \times \frac{23,900}{24,600} \right) \times \frac{30.39}{13.97 + 4.91 + 4.67 + 1.36} \\ &+ \left(\frac{56.36}{100} \times \frac{457,000}{240,000} + \frac{2.31}{100} \times \frac{107}{117} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{59.17}{56.36 + 2.31 + 0} \\ &+ \left. \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} - 10.44 - 30.39 - 59.17 - 0.00 \right\} \\ \text{積算単価} &= 804.40 \end{aligned}$									

施工パッケージ単価計算

施工パッケージ名称				積算単位	標準単価	積算単価	登録番号	コードNo.
プレキャストL形側溝(製品長 0.6m/個)				m	7,160.80	6,956.00	8005	施工パ-091-1
条件区分								
作業区分		据付						
基礎碎石の有無		有り						
L形側溝の種類		鉄筋コンクリートL型 250B						
機労材		代表規格				構成比	基準単価	福岡
K(機械)		*印:賃料				6.35		
	K1	バックホウ(クローラ型) [標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積0.45m3(平積0.35m3) 吊能力2.9t				4.74	10,900	10,800
	K2	-				-		
	K3	-				-		
R(労務)						62.44		
	R1	普通作業員				26.56	21,100	19,500
	R2	土木一般世話役				10.30	24,600	23,900
	R3	運転手(特殊)				6.38	23,800	21,300
	R4	特殊作業員				3.37	24,200	22,000
Z(材料)						31.21		
	Z1	鉄筋コンクリートL型 250B				28.80	1,340	1,420
	Z2	軽油 1.2号 パトロール給油				1.80	117	107
	Z3	-				-		
	Z4	-				-		
S(市場単価)		-				-		
計算式								
$\begin{aligned} \text{積算単価} &= 7,160.80 \times \left\{ \left(\frac{4.74}{100} \times \frac{10,800}{10,900} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} \right) \times \frac{6.35}{4.74} + \frac{--}{100} + \frac{--}{100} \right. \\ &+ \left(\frac{26.56}{100} \times \frac{19,500}{21,100} + \frac{10.30}{100} \times \frac{23,900}{24,600} + \frac{6.38}{100} \times \frac{21,300}{23,800} + \frac{3.37}{100} \times \frac{22,000}{24,200} \right) \times \frac{62.44}{26.56 + 10.30 + 6.38 + 3.37} \\ &+ \left(\frac{28.80}{100} \times \frac{1,420}{1,340} + \frac{1.80}{100} \times \frac{107}{117} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} + \frac{--}{100} \times \frac{0}{--} \right) \times \frac{31.21}{28.80 + 1.80 + -- + --} \\ &+ \frac{--}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{100}{100} - 6.35 - 62.44 - 31.21 - 0.00 \left. \right\} \\ \text{積算単価} &= 6,956.00 \end{aligned}$								

